

第72回四日市市民芸術文化祭行事

ニューイヤーコンサート 2023

指揮 井村誠貴

管弦楽 セントラル愛知交響楽団

音楽主幹 山本雅士

司会 藤田倫子

第11回は四日市に大谷康子を迎えて

ヴァイオリン
大谷康子

© Masashige Ogata

ピアノ
秀平雄二

ピアノ
小野田有紗

メゾソプラノ
伊藤理絵

●日時 2023年1月7日(土)
開演13時30分(開場12時45分)

●会場 四日市市文化会館 第1ホール

チケット販売

①四日市市文化会館 ☎059-354-4501

②四日市クラシックファンクラブ事務局(移転しました)

〒511-0832 桑名市新地104(西村)

☎080-4222-3566 Fax 0594-21-0724

前売指定席(1F) S席 3500円(当日3800円) A席 2500円(当日2800円)
B席 2000円(当日2300円)

前売自由席(2F) 2000円(当日2300円) 未就学児4歳~高校生 500円(当日も)

◎チケットほかお問い合わせ ☎080-4222-3566 西村

主催/四日市市・(一社)四日市市文化協会・第11回ニューイヤーコンサート2023 in 四日市実行委員会

共催/(公財)四日市市文化まちづくり財団

主管/四日市クラシックファンクラブ

協賛団体/協賛グループ

助成/(公財)岡田文化財団

後援/四日市市教育委員会・中日新聞社・(公社)セントラル愛知交響楽団

Profile & Program

(演奏順) ニューイヤーコンサート2023



指揮/井村 誠貴 (いむら まさき)

1994年大阪音楽大学卒業。オペラ指揮者としての活動が著しく、2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなど、その地位を確立している。管弦楽では、関西フィル、京都市響、セントラル愛知、名古屋フィル等を客演指揮。さらにOsaka Shion Wind Orchestra、シエナ・ウィンド・オーケストラ等との関係も深く、その分野でも注目を集めている。その活動の場はミュージカルにも広がり「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」等のロングラン公演全国ツアーを成功させ、ライブCD、DVDを発売。また岩崎宏美、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには作曲、編曲、作詞も手掛け、マルチな才能を発揮。2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。9回の演奏会で5400万円を超える義援金を届けた。現在、春日井市第九演奏会音楽監督。関西音楽人のちから「集」代表。



ピアノ/秀平雄二 (ひでひら ゆうじ)

名古屋芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了時に理事長賞受賞。日本ピアノ教育連盟オーディション全国大会において、最優秀演奏者に贈られる秋原和子賞を受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位及びグランプリ。山田貞夫音楽財団音楽賞特選他受賞多数。名古屋市民芸術祭、岐阜国際音楽祭、日伊親善交流演奏会など多数の演奏会に出演。ソリストとして、ベートーヴェン/第3番、第5番「皇帝」、合唱幻想曲、グリーグ、ショスタコヴィチ/第1番、ラフマニノフ/第2番、パガニーニ狂詩曲を国内外のオーケストラと共演。アンサンブルピアニストとしても数多くのアーティストから信頼を得ており、参加したCDはレコード芸術誌において準特選盤に選定されている。またアウトリーチ公演やラジオ出演等幅広く活動している。車谷徳子、田中航造、中沖玲子の各氏に師事。三重県声合唱団あんだあれ70、女声アンサンブルMarimo座各ピアニスト。名古屋芸術大学非常勤講師。

ベートーヴェン作曲

ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 作品73「皇帝」

メゾソプラノ/伊藤 理絵 (いとう りえ)

名古屋音楽大学声楽科卒業。「名古屋音楽大学卒業演奏会」「三重県新人演奏会」「第4回みえ新進音楽家演奏会」に出演。第12回みえ音楽コンクール声楽部門一般の部第1位および岡田文化財団賞受賞。オペラは「こもり」オルゴフスキー「蝶々夫人」スズキ「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル「カルメン」メルセデス、「いのち」てる、「魔笛」クナーベIIIに出演。「東員町の第九」「四日市の第九」アルトのソリスト等に出演。三重オペラ協会会員。馬場浩子氏に師事。津女声合唱団ボイストレーナー。

ロッシーニ作曲

オペラ「セヴィリアの理髪師」より

今の歌聲は

サン＝サーンス作曲

オペラ「サムソンとデリラ」より

私の心はあなたの声に花開く 他



(休憩15分)



ピアノ/小野田 有紗 (おのだ ありさ)

三重県四日市市出身。2歳よりピアノ、6歳よりヴァイオリンを始める。東京藝大附属高校入学後、16歳で渡米しジュリアード音楽院に入学。17歳で高校を飛び級で卒業。その後渡英し、英国王立音楽院学士、修士課程首席で卒業。同アドヴァンスト・ディプロマ課程修了。ショパン国際ピアノコンクールin ASIA第1位金賞、ブダペストショパン国際ピアノコンクール第3位、ヒルトンヘッド国際ピアノコンクールにてメダリスト及び特別賞、ユリウシュ・ザレンプスキ国際音楽コンクール第1位及びショパン賞受賞など国内外の数々のコンクールで優勝、入賞。日本のみならずヨーロッパ、アメリカ、中東など世界各地で演奏活動を行い、読売日本交響楽団、ポーランドシレジアフィル、エミレーツ国際フィル、コンチエルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、パレエ、オペラ、ミュージカル等の共演。2017年にはチャンネルピグマリオンデイズアーティストに選出される他、NHK-FMリサイタルノヴァ、RTS(スイス放送) Espace2、テレビ朝日 関ジャニ∞のTheモーター音楽王No.1決定戦出演(優勝)や、近年ではフジテレビ、NHK等の密着番組などメディアでも取り上げられ、さらに注目を集めている。

チャイコフスキー作曲

ピアノ協奏曲第1番変ロ短調 作品23

ヴァイオリン/特別ゲスト 大谷 康子 (おおたに やすこ) ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64

2021年にデビュー46周年を迎え、これまでにソロ活動はもとより、モスクワ・フィル、スロヴァキアフィル等、国内外の著名なオーケストラと多数共演。キエフ国立フィルとは2017年以降毎年招聘され、2022年9月に共演を予定。また、2019年5月に実力派ピアニスト、イタマール・ゴランと全国ツアー(12都市)を開催し、好評を博す。著書に「ヴァイオリニスト 今日も走る!」(KADOKAWA)がある。CDも多数リリース。BSテレ東(毎週土曜朝8時)「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。東京芸術大学客員教授。(公財)練馬区文化振興協会理事長。川崎市市民文化大使。高知県観光特使。(公財)日本交響楽振興財団理事。(公社)日本演奏連盟理事。使用楽器はピエトロ・ガッルネリ(1708年製)/日本音楽財団貸与。オフィシャル・ホームページ: <https://www.yasukoohtani.com> 【公式YouTube】「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中!

メンデルスゾーン作曲

ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品64



©Masashige Ogata

セントラル愛知交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。2022年度はアソシエイトコンダクターとして阿部未来、松川智哉を迎える。定期演奏会、コンチエルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、パレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。独自の構成によるプログラム、幅広いレパートリーを生かした学校公演、演奏者と聴衆の距離を縮めるような室内楽公演にも積極的に取り組んでいる。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市民芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ペンクラブ賞」受賞。2022年度からは「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。